

< 都市住民等との交流を実施している事例 >

棚田オーナー制度で都市住民との交流と地域の活性化

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	和歌山県海南市 <small>かいなんし</small> 海老谷 <small>えびたに</small>			
協定面積 23ha	田 (26%) 水稲	畑 (74%) 柿、みかん	草地	採草放牧地
交付金額 324万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)			多面的機能増進活動費 32%
				鳥獣被害防止対策、水路、農道維持管理費 13%
				役員報酬・諸経費・その他 5%
協定参加者	農業者20人			

2. 取組に至る経緯

当集落は、柿、みかんの栽培を中心に棚田においては稲作を行っている地域で、周辺地域と比べると、比較的若い50歳代が就農している地域である。しかし、コンバインの導入も困難な地域で、今後、高齢化の進行が懸念されるため、平成15年より都市住民との交流を目指して実施している棚田オーナー制度を集落の活性化や産直体制の確立に向け、集落をあげて充実・発展させることとした。

また、従来 of 栽培では、価格が不安定なため、みかんのマルチ栽培や、優良品種への改植を行うこととした。さらに、山林との境界が周辺3集落と連続しているため、連携して計画的に獣害防護柵の設置を進め、農地の維持はもちろん、次世代の就農者が農業に魅力を持てるような環境整備に取り組むこととした。

3. 取組の内容

棚田オーナー制度の参加者をテレビ等で募集し、田植え、稲刈り、交流会を通して都市住民との交流による集落の活性化を推進している。今後、取組面積を拡大し、わら細工や餅つきなどの交流メニューを増やして活動の幅を広げる予定である。

また、柿やみかんの優良品種への改植、柿の樹上脱渋などを行い、高品質で安心・安全な農産物の提供に取り組んでいる。

さらに、鳥獣害対策では、周辺3集落と連携し、防護柵や捕獲檻等の設置を行った。



棚田オーナー募集のチラシと田植え



稲刈りの様子

[集落の将来像]

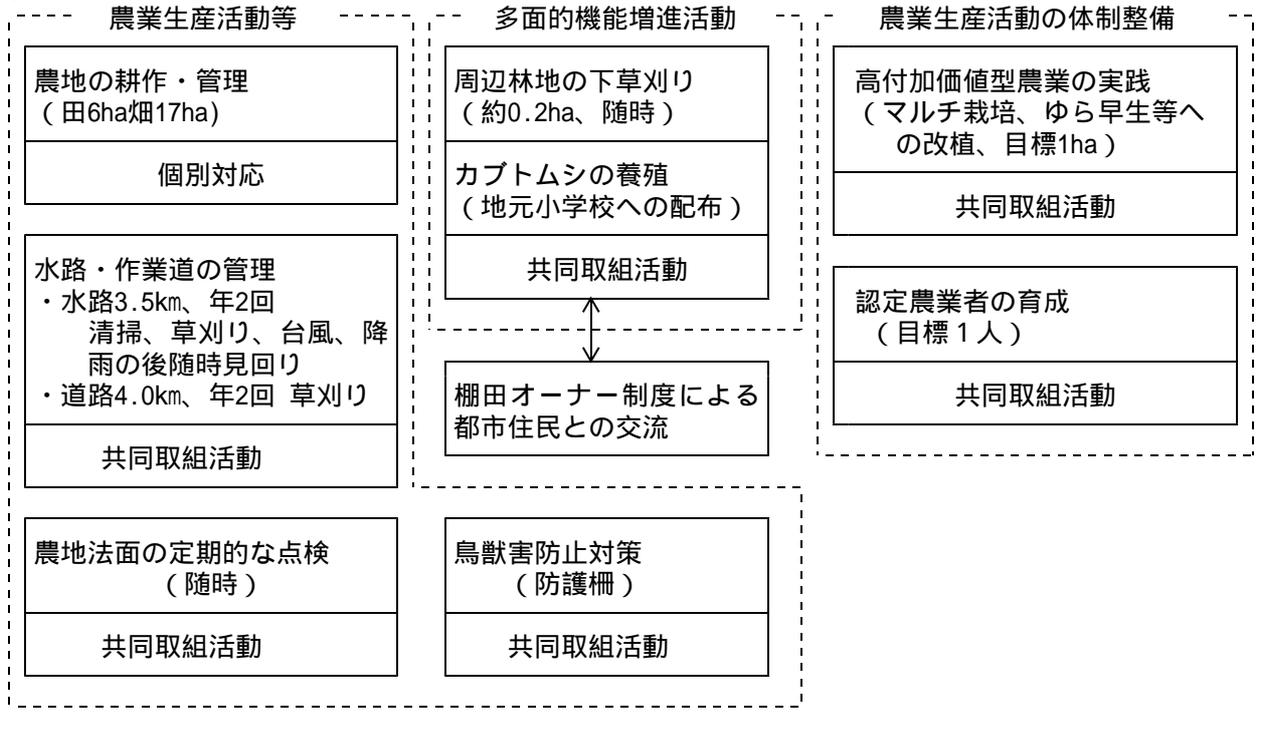
棚田オーナー制度を充実・発展させ、都市住民との産直体制を確立し、安定的な農業経営を図るとともに、次世代が中心となって、集落全体で耕作する集落営農に取り組む。



[将来像を実現するための活動目標]

農地の維持はもちろん、次世代の就農者が農業に魅力が持てるように環境整備に取り組んで行くとともに、棚田オーナー制度を中心として、集落の活性化のために、高付加価値型農業の実践、認定農業者の育成及び周辺集落と連携した獣害防護柵の設置・維持補修などに取り組む。

[活 動 内 容]



集落外との連携

集落内の農家に作業委託等ができない場合には、集落外の農家との連携を図り、農作業委託等を推進する。
隣接集落と連携して獣害防護柵の設置、維持・管理に取り組む

4 . 取り組みによる変化と今後の課題等

棚田オーナー制度による都市住民との交流や高品質で安全・安心な農産物を生産することによって消費者の信頼を確保し、農家の生産意欲も高まっており、近隣の農産物直売所への出荷が年々増加している。

[平成20年度までの主な効果]

周辺3集落と共同で周辺林地界に獣害防護柵の整備 (H20実績: 総延長4.0km)

認定農業者の育成 (目標1人、H20実績1人)

都市住民との交流による地域の活性化

・棚田オーナーの取組 (8組(H17)、16組(H18)、19組(H19)、20組(H20))

高付加価値型農業としてマルチ栽培、ゆら早生等改植の実践 (当初0ha、目標1ha、H20実績0.7ha)